

nuovoサブスク会員 ご紹介

nuovoでは、重機講習会の修了者を対象にnuovoサブスク会員コース（定額料金でトレーニング可能）を運営中。修了された方々が会員となり、通学・通勤の合間に時間を見つけては、重機操縦の腕を磨いておられます。会員のお三方に、サブスク体験談をお伺いしました。



nuovoサブスク会員コースの詳細はこちら

バギーのエンジン音で 目覚める毎日 災害に備え、楽しく技術力アップ!



坂本海斗さん
(27)
介護士

平日は介護士として働きながら、休日になるとnuovoに通っています。人の為になりたいという気持ちが強く、サブスク会員になり重機の技術を磨いています。いつ起きるかわからない自然災害の為に頑張っていきたいと思います。

きっかけは、2019年10月に発生した台風19号。被災地でボランティアに参加したときに、人力では限界があると痛感しました。一緒に活動していた笑顔P・春原圭太副代表の重機テクニックを見て、自分も災害地で活躍したいと思い、資格を取得しました。

仕事では重機に乗る機会がなく、自分の技術を向上させるよい方法はないものかと思っていたところ、nuovoのサブスクを知ってすぐに会員になりました。メンバーの方とも仲良く練習ができ、時間があっという間に経ちます。とても練習しやすい環境です。

重機も好きですが、特に好きなのはバギーです。5月には、第3回ATV四輪バギー講習会にも参加しました。毎朝、バギーのエンジン音で目が覚めます。スマホの待ち受けもバギーですよ!

授業の空き時間も放課後も トレーニング! サブスクで、乗れば乗るほど上達を実感



安藤圭吾さん
(18)
学生

台風19号の支援で重機を使ったボランティアのお手伝いを経験して、自分も重機に乗って活躍したいとずっと思っていました。資格対象である18歳になるまで待って、誕生日の3日後に笑顔Pの重機講習会を受講しました。

実技講習ではいろいろな重機にたくさん乗れたり、講師陣による圧巻の重機パフォーマンスが見られます。

初めて重機を操縦したときのワクワク感は、今でも忘れられません。自分ももっとうまくなりたいと思い、受講当日、その場でサブスクに入ることを決意しました。

サブスクのトレーニングは、重機の操作はもちろん、メンバー同士の和気あいあいとした雰囲気也非常に楽しいです。乗れば乗るほど上達していくのが自分でも実感できました。今では授業の空き時間や放課後などもサブスクに通っています(笑)。

さらにレベルアップして、実技講習のクルーとして教える側の立場もさせていただいています。多くの方に資格を取っていただき、サブスクでも一緒にできる日を楽しみにしています!!

練習も交流も楽しい nuovo 実技講習でお会いしましょう!



金子真一朗さん
(22)
りんご農家

台風19号で長野が被災した際に、なににもできずに歯痒い思いをしました。そんなときにテレビを見ていて、笑顔Pが重機を使って災害支援をしていることを知り、「これだ!」と思い、重機の資格を取るに至りました。

資格を取った後も、「いつ起きるかわからない災害に備え、免許だけあっても現場で使えなければ意味がない!」と感じ、全国初の重機のサブスクに入会して、日々楽しみながら技術を磨いています。

nuovoでは、重機の練習だけではなく、業種や年齢を問わずいろいろな方たちと交流できることも魅力の一つで、人生の先輩達のお話を聞けるだけで社会人1年目の僕にとっては勉強になります! 全国どこを探しても、こんなに楽しく重機の資格を取り技術を磨くことができ、非常時の備えができる場所は他にないと思います!

僕は笑顔Pの重機講習会で、実技講習のクルーとしても活動しているので、みなさんにお会いできるのを楽しみにしています! 僕たちと一緒に楽しく学び、非常時に備えましょう!

<支援金のおねがい>

日本笑顔プロジェクトの活動は、みなさまからの支援金のみで成り立っております。被災地での支援活動やライフアミューズメントパークnuovoの運営には、重機やダンプの燃料資金が必要です。ご支援のほどを、なにとぞよろしくお願いいたします。

日本笑顔プロジェクト 代表 林映寿

八十二銀行 (ハチジュウニギンコウ)
小布施 (オプセ) 支店 (252)
口座番号 普通: 2 11038
口座名 日本笑顔プロジェクト
(ニホンエガオプロジェクト)

※口座番号に7桁の指定がある場合は、先頭部分に「0」を入力して、[0211038] としてください。

発行 2021 年 6 月 30 日

発行者 一般財団法人日本笑顔プロジェクト
代表 林映寿
〒381-0211 長野県上高井郡小布施町
雁田 676 浄光寺内
電話: 026-247-3924
HP https://egaonowa.net/

制作 燕游舎

Vol.2

笑顔NEWS

笑顔
NIHON EGAO FOUNDATION



重機講習受講生400名を突破!



令和元年東日本台風

2019年10月に発生した令和元年東日本台風。日本笑顔プロジェクト（以下、笑顔P）本部がある長野県小布施町も、千曲川の決壊・越水により甚大な被害を受けました。

多くの家屋が浸水する中、町の基幹産業である農業の畑や果樹園にも大量の泥が堆積。1日も早く排土を進めなければ果樹が枯れてしまう危険があるため、災害発生後、笑顔Pではスコップによる排土作業に着手いたしました。



千曲川の越水により冠水した小布施町内の道路(左)と、果樹園に厚く堆積した泥(右)。

スコップから重機へ

台風被害により、小布施町だけでも143ha（東京ドーム30個分の敷地）に20万㎡の泥が堆積しました。当初はスコップで泥をかき出す日々でしたが、大人が全力で終日泥をかいても、朝の作業前と夕方の作業後とで景色がほとんど変わらず……。体力だけが消耗していきばかりでした。

人力の限界という壁に阻まれ、もどかしい思いをかみしめた末、笑顔Pでは、短期間で能率よく排土を進めるために重機と重機オペ



が誕生いたしました。笑顔Pメンバーはその方々とともに現場に入り、毎日のように重機による排土作業を重ねてまいりました。

1000人育成プログラムに着手

昨今、多発している大規模災害において、重機オペレーターの育成は必要不可欠です。笑顔Pでは「自分たちの地域は自分たちで守る」というモットーのもと、2020年10月から1000人の重機オペレーターを育成するプログラムに着手し、定期的に講習会を行っています。



受講生が400名突破!

5月22～23日に開催した第20回重機講習会をもって、受講生が400名を突破いたしました。下は18歳の学生から上は83歳の方まで、老若男女を問わずさまざまな職業の方々に受講いただいております。



83歳の受講生も見事資格を取得。

笑顔Pの活動が国会で紹介されました!



参議院議員の熊谷裕人様^{くまがいひろと}が6月2日、参議院災害対策特別委員会の一般質問において「災害時における民間セクターとの連携について」という視点で、小此木八郎内閣府特命担当大臣(防災)に質問をなさいました。

これに先立つ5月23日、熊谷様は笑顔Pが運営する「ライフアミューズメントパークnuovo」(以下、nuovo)を実際に視察してくだ

さいました。当日のご経験や笑顔Pスタッフとの面談に基づき、同委員会では、頻発する大規模災害への備えとして、さまざまな専門的スキルをもつボランティア団体などを育成・支援するべきというご意見の中で、笑顔Pの重機講習会やnuovoサブスク会員コースを紹介、評価いただきました。

災害時に行政と民間がスムーズに連携し、スピーディーかつ効果的な救助・支援活動ができるよう、これからも活動を行ってまいります。

日本笑顔プロジェクト 活動の記録 (2021年3月—5月)

3月

- 4～5日 KDDI エンジニアリング株式会社様向けATV
四輪バギーライセンス講習会実施(協力:一般
社団法人オフロードビークル協会、以下OVO)①
- 5日 株式会社コケナワ様と災害協定調印(世界最
小クラスの携帯トイレ) ②
- 8日 長野県上伊那ブロック社会福祉協議会様の
重機講習会実施(初の出張重機講習)
- 10日 テレビ信州「ゆうがた Get!」で放送(nuovo)
- 11～12日 長野県社会福祉協議会様との共同主催により
重機講習会実施、33名受講(累計 257名) ③
- 12日 新潟県南魚沼市・株式会社ネクスコ・エンジ
ニアリング新潟様向けATV 四輪バギー講習会実
施(協力:OVO)④
- 13日 須坂新聞掲載(nuovo)
- 13日 Yahoo! ニュースのトップに掲載(林代表)
- 18～19日 第14回重機講習会実施、29名受講(累計
286名)
- 27～28日 第15回重機講習会実施、16名受講(累計
302名)



①



② 世界最小クラスの携帯トイレは、米軍用に開発された破れにくい特殊ポリエチレン製。大1回、小3回の大容量で、防臭・消臭機能も万全。



③



④ 2020～21年冬の雪害対応に活躍したバギー。本格的な導入を前に、講習会では座学をはじめ、基本走行や縦列滞留車をイメージした隙間走行、バンク八の字走行、急勾配走行、斜行走行などを実践。



⑤ 4月1日より常駐スタッフとなった春原圭太副代表(右)、神戸智基事務局長(左)。林映寿代表(中央)より入社辞令書を授与。



⑥



⑦ 河川の氾濫により、足場が傾いてしまった築数十年の倉庫。多くの危険が伴う解体作業を、依頼に応じて笑顔P重機隊が行いました。



⑧



⑨



⑩

4月

- 1日 日本笑顔プロジェクト入社式 ⑤
- 4日 長野市長沼・庭の障害物除去(台風19号災害支援)
- 5日 長野市豊野町・芋植えに参加(台風19号復興支援) ⑥
- 6日 ドキュメンタリーサイト「ソダテタ」掲載(神戸事務局長)
- 8日 長野市長沼・倉庫解体(台風19号災害支援) ⑦
- 11日 nuovo パーク池作り
- 13日 車中泊専門雑誌カーネル『車中泊避難マニュアル vol.1』に掲載(nuovo) ⑧
- 15～16日 第16回重機講習会実施、17名受講(累計
319名)
- 16日 北信ローカル掲載(笑顔P)
- 18日 第2回重機講習会(解体用)実施、12名受講⑨
- 19日 長野市豊野町・排土作業(台風19号災害支援)
- 19日 国会議員・塩村あやか様が参議院決算委員会
で災害ボランティアの重機オペレーターについて防災担当大臣に質問
- 20～21日 千葉県・真言宗豊山派仏教青年会向け重機
講習会実施、30名受講(累計 349名) ⑩
- 23日 nuovo トレーニング施設構想

24～25日 第17回重機講習会実施、27名受講(累計
376名)

5月

- 1日 株式会社 C-SOS 様と災害協定調印(高密度発泡スチロール製組立て式簡易トイレ「BENKING」) ⑪
- 1～2日 第18回重機講習会実施10名受講(累計 386
名)
- 3日 第3回ATV 四輪バギー講習会実施
- 6日 週刊仏教タイムス掲載(4/20・21、千葉・重
機講習会)
- 7～8日 長野市豊野町・砂利敷き(台風19号災害復興
支援) ⑫
- 13～14日 第19回重機講習会実施、13名受講(累計
399名)
- 17日 災害時を想定した電動キックボード検証実験
を実施
- 19日 長野市豊野町・転圧作業(台風19号災害復興
支援)
- 20日 ATV 四輪バギーを活用した AED 講習会(協
力:須坂市消防本部様) ⑬
- 22～23日 第20回重機講習会実施、11名受講(累計
410名) <P.1>
- 23日 国会議員・熊谷裕人様がnuovo視察⑭ <P.1>
- 24日 nuovo に水陸両用バギー導入(提供:
e-Nature 株式会社様) ⑮
- 26日 消防士向け第2回重機オペレーターレベル
アップ講習会(協力:DRT JAPAN様、OPEN
JAPAN様) <下記コラム>
- 26日 中日新聞掲載(車載用非常食セット、
BENKING) ⑯
- 27日 重機講習・クルー研修会 ⑰
- 29日 NEXCO東日本新潟市支社様、ネクスコ・エ
ンジニアリング新潟様よりATV四輪バギー1台・
ピックアップトラック1台導入決定
- 29～30日 第21回重機講習会実施、7名受講(累計417名)
- 30日 富山テレビ報道特別番組「大雪と依存社会」
で放送(nuovo) ⑱



⑪ 頑丈・水に強い・便座が温かい・組み立てが簡単。"ストレスのないトイレ"を目指して開発された、初の発泡スチロール製簡易トイレ「BENKING- 便王」。



⑫



⑬ AEDの使い方や救急処置・胸骨圧迫の方法などを学ぶとともに、四輪バギーを用いた災害現場シミュレーションも実施したAED講習会。



⑭



⑮ 災害時の悪路や冠水地での救助活動で威力を発揮する水陸両用バギー。その機動力・走破性から、消防署でも導入されています。



⑯



⑰ 指導研修会の参加メンバーは真剣そのもの。重機講習会受講者の方々により質の高いサービスを提供するべく、笑顔Pではクルーの育成にも力を入れています。



⑱

現場に必要な技能・知識をさらに！～第2回 重機オペレーターレベルアップ講習会



5月26日、「第2回重機オペレーターレベルアップ講習会」を開催いたしました。近年、全国各地の消防本部で重機の配備が進んでオペレーション技能の必要性が高まっており、須坂市から8名と、県内で唯一重機を配備する松本市から3名、計11名の有志消防士がご参加くださいました。笑顔Pからは、サブスク会員1名を含む4名が参加。

講習会では、多様なシチュエーションでの走行訓練をメインに、重機による車の牽引、外れ

たクローラーの装着、アタッチメントの着脱など、現場で必須のスキルや知識を数多く学びました。参加者は互いに助言しあって難しい実技に挑戦し、確かな自信と手応えを得たようです。

今後は、サブスク会員向けのスキルアップ講習会も開催予定。詳しくは笑顔Pホームページで。

講師 DRT JAPAN 黒澤司様
OPEN JAPAN 吉村誠司様
重機提供 チームSHIRO様
廃車提供 株式会社小田切車体様